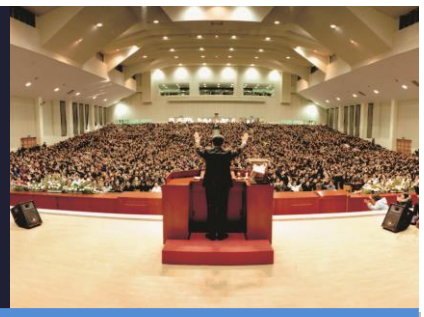
第 2017-45 号

恵みと真理のニュース



2017 年 11 月の一次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　私たちの家族に豊かな恵みを下さり、主の中で幸せな人生を生きるようにしてくださる神様に感謝を捧げます

父が幼い私を背負って山腹にあるお寺に連れて通うほど酷く偶像崇拝をする家庭で生まれ育ちました。幼い時、村の友達の中で山を越えて遠くある教会に通う友達も何人かいました。中高生の時は仲良い友達か教会に通いましたが、私は教会に関心がなかったです。青年になった後、職場生活をしながら好きな文学集いへ熱心に参与しました。そうしながら、人々に出会って対話するときは楽しかったものの、実際に家に帰ってくるととても空しく感じて様々な事を考えるようになりました。

その頃アンヤンで引っ越しをして恵みと真理教会に通う執事から伝道されました。初めは教会に来た時は教会の雰囲気が慣れなかったし、牧師の説教が聞き慣れなかったので特別な感動を受けませんでした。そうするうちに水曜礼拝に初めて参席して説教を聴く時、牧師がくださる御言葉が私の心に深い感動で来ました。その感激によって次の水曜礼拝に自ら教会で向かうようになりました。その後、まもなく青年部の区域長が来られ青年部礼拝と集うに参与するのを勧めました。 その時から一週間ずっと礼拝中心の生活をするようになりました。青年区域長と共にあちらこちら伝道と訪問を通う一方、主日は教会学校の幼児部で奉仕しました。そのとき、区域長の勧めに従順したのは神様の大きい恵みでした。神様は私の信仰生活初期から御言葉を愛し熱心に祈りをする生活をするようにしました。聖書御言葉を読んで黙想すると蜂蜜よりもっと甘く感じました。

信仰生活をしてからまもなく神様が聖霊洗礼を下さり、青年区域長の職分を下さって熱心に伝道をしました。クリスマス頃、初めて職場の取引先の職員の姉妹を伝道しました。その時、姉妹の同僚と友達3人が教会に来て決信したので限りなくうれしくて感謝でした。伝道する楽しさと神様が住宅が多くて広い地域を私に任せてくださったので毎週熱心に伝道をして主を仕えることに最善を尽くしたら区域青年達の信仰も共に成長するようなり、日々がやりがいがあって幸せでした。

その後、神様の摂理で信仰が真実な旦那に出会って結婚して主の事に力を尽くしました。結婚の初期はとても小さい部屋一つある家で新婚生活を始めましたが、神様が助けてくださってまもなく大きさは小さいですが大事な家を設けました。また、神様の驚くな摂理で父親を救ってくださいました。父親が急に体の調子が悪くて続けて治療を受けるべきでしたが、兄と義姉は職場生活をしていたので私の家で泊まって治療を受けるようになりました。

そして私が昼夜で父親に福音を伝えて、礼拝に参席するように隣で助けることが出来ました。私がイエス様を信じた後、よく電話をしてお会いするたびに熱心に福音を伝えたが、父はその時、ことに私の伝道を断りました。しかし、主が機会を与えてくださってその機会を通して、父の魂を救ってくださいました。

神様は恵みの上に恵みを下さって経済的で余裕もできて広い家で引っ越しをしていた私にも苦難もありました。三番目の子が生まれて１ヶ月になった時、どんな症状もなくて三日間あまり食べなくて高熱が出ました。生まれた病院でもっと大きい病院に行こうと言われました。大木病院では新生児集中治療室に入院させて8日間いろんな検査を受けました。そして　珍しい病気である"先天性副腎形成症" という診断を受けました。医者はその症状を説明しながら体温調節がよくできなくて、体の中になる塩分が必要なだけにいつも残っていなければならないが、それがすべて抜けて出てまた、時に合わせて成長するのにも困難があるとしました。そんな状況で私の家族は神様の治療と摂理を期待して神様に切に祈りました。

末っ子は神様の恵みと愛の中ですくすくと育てられもう中学2年生になりました。末っ子が13歳になって私たちは神様が私達のため行われた事が大きくて多かったのを悟りました。 末っ子が生まれた当時にはこの病気を診療して治療をする病院がアンヤンではなかったですが、痛い子供のため遠くいる先生が派遣診療をなさってその間、長期的で診療と治療をしてくださったのです。後でその医師が任された業務が多くてもう以上アンヤン地域に来ることが出来ないと話をしながらもう子供も大きくなったので本院で診療を受けたらどうと聞かれた時、初めて、事実を知るようになりました。私たちはこのような主の精密な恵みの手で最も感謝しました。

神様は娘にも数えられないほど多くの恵みを与えてくださいました。子供の時から本を読むのが好きだった娘は特に"80日間の世界一周" という本を読みながら自分も世界を回したいと話したりしました。そうしながら、自分を中心において、他の多くの国の子供達を横に友達と描き込みました。何事にも積極的な性格で神様は特別な言語能力を持つようにしてくれました。娘は小学校の時から英語特性化プログラムを活用してコーダー合奏部ような様々な活動をしました。高校の時も、人文の特技クラスに属してもっと、深みのある学業をしていろいろな恵みを共住して、学校交換学生プログラムを通じ、外国学校に行って視野が広げる時間も持ちました。

神様は娘がポハンにあるキリスト教の財団の大学に入学して神様のビジョンを夢見ながら勉強してくださいました。大学生活する中でも1年間イギリスやオーストリアで勉強しながら子供の頃夢見たように色んな国の友達を付き合って見分を広げるようにしてくださいました。娘は大学を卒業をして今遠いアプリカのジンバブエで教育プログラムと教育プログラムなどに関連する仕事をしながらその国の子供の教育と福音宣教の為、多様な活動をしています。

二番目の娘にも子供と青少年の頃、自分がやりたいことがあったので、この事を願って祈るなら、神様が行く所ことに学校でそんな部署が出来てくださってその仕事をするように摂理してくださいました。神様の恵みと愛の中でもう大学勉強を終えた娘は" 人間の心は自分の道を計画する。主が一歩一歩を備えてくださる。" （箴言16：9）と言われた御言葉を信頼して就職活動をしています。このような私の家族に豊かな恵みを与えてくださった神様に感謝を捧げます。私達が享受する何よりも家族が主の愛の中で主だけを礼拝して生きるようにしてくださった恵みに感謝します。三人の子供にきれいで真実な信仰を下さった恵みに限りなく感謝します。

私は足りなくて弱くて神様と人の前で恥ずかしい面が多くて" わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか。" 使徒パウロの告白を私の告白になります。

にもかかわらず、そんな私を愛して首区域長と教会学校の児童部の教師の職分を任されて主の事に献身するようにしてくださって感謝します。" イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があろうか。主はあなたを助ける盾／剣が襲うときのあなたの力。敵はあなたに屈し／あなたは彼らの背を踏みつける。" （申命記３３：29）神様にすべての栄光を捧げ、私たちの家族が心と考えをキリストに服従させ神様が喜ばれる人生を生きて主の前で立つ日、主に認定を受け大きく褒められるのを祈ります。ハレルヤ！

［信仰コラム］　落胆を治める秘訣

"わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。..."(詩篇 42:5,6)

人は誰でも希望を抱いて生活していきます。自分なりの大小の希望があるので当面した困難と苦痛を耐えながら生きます。希望は生活の態度を力動的で進取的にしてくれます。人は希望を持って生きていく存在です。未来に向いた理想を抱いて生活します。"絶望は死に至る病"という話のように人生で最も恐ろしい病は落胆であり絶望であります。人を落胆に落とそうと霊的な存在がいます。サタンは人が苦境に遭う時に落胆するようにそそのかします。人が落胆して絶望する場合をいくつかに分類することができます。

一、自分が努力して苦労した事に成果がなかったり状態がより悪くなった場合です。二、期待したことが叶えられず、続いて遅延される場合です。三、苦痛と悲しみが劇甚な場合です。四、問題を解決する道がなく助けてくれる人もないと判断する場合です。人の一生でこのような場合に全然会わずに生きる人はいないが、と言って全ての人が落胆して絶望に陥るのではありません。聖書に記録された偉人達の生涯を見てみると艱難と逆境が除外された人物は一人もいません。しかし彼らは落胆するのを拒んで退けました。踏んで前進しました。私達の周辺にも身体的あるいは環境的で極度に難しい状況でも落胆するのを拒んで不運を踏んで堂々と生きていく方々が多くいます。

聖書には落胆を治める最上の方法が記録されています。その中で詩篇 42 編を中心にして落胆を治める秘訣を調べてみましょう。

第一、詩篇の記者は落胆が心に根付くことができないよう自分を責めて激励しました。人は自分に尋ねて責めて激励することができる技能を持っています。イスカリオテのユダは大祭司長達にお金を受けてイエス様を売り渡す罪を置かした後、自分が行ったことを自責しました。そして自責の末、首をくくり死にました。イエス様を知らないと 3 回も否認したペテロは自分が行ったことに対して自責し外に出て痛哭しました。その後に彼はイエス様が釘つけられて死なれ葬られる現場に行きました。そして復活なさったイエス様に会いました。イスカリオテのユダは自責しながらイエス様から離れました。ペテロは自責しましたがイエス様に進んで行きました。"わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。"という詩篇記者の自責は自分が神様に進んでいくためのことでした。私達にもこのような自責が必要です。そして詩篇の記者は自分を激励しました。"神を待ち望め"、"わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。"としました。私達を落胆させる問題だとしても助けてくださる神様の御手に触れると却って賛美に変わります。

第二、詩篇の記者は過ぎた日の中で様々な状況で助けてくださった神様を考えました。ヨルダン地とヘルモンとミザル山で神様が共におられてくださり手伝ってくださった事事を想起しました。皆さんも落胆する時に神様を考えてください。慈しみあり信実でおられる神様、適切な助けを与えてくださる神様に対する考えで心を満たしてください。そうすると落胆は除去され望みが満ちるようになるでしょう。

イエスキリストを信じて生まれ変わった人には事実上、絶望的な状況とはありません。その理由を聖書はこのように記録しています。"それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。..."、"わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。"、"悪しき者は死ぬとき、その望みは絶え...正しい者はその正しきによって、のがれ場を得る。"としました。聖書には"望みの神"と話し、"わたしたちの望みであるキリスト.イエス"としました。

不信者の一生は見通しが不透明な生活に過ぎないが、キリスト人の人生は見通しが明らかであり確実であります。落胆と絶望が一歩も皆さんの心の中に入るのを許さないでください。神様は聖徒達の望みを辱しめない方です。本文の御言葉の詩篇記者が告白したのが皆さんの告白になるよう祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

逆説的な真理

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖書には、逆説的な真理があります。常識的には矛盾のように見えるが適用すると、真理に現れる言葉です。これは成功と幸福を抱かせる教訓です。これらの教訓を実践に移し、その結果を体得した人は、その教訓を日常生活化されます。しかし、これを適用して実践するには果敢な意志的な決断が必要です。今日は逆説的な真理七つを見てみましょう。

第一は、貧困が真の富を得ることになる逆説的な真理です。

貧しいより豊かなものがよいのは言うまでもないことです。ゆったり富は豊かな生活をすることができるようにしてくれて利便性を提供しています。自信感と安心感を持たせてくれます。ところが、心は豊かなものより貧しい方が優れています。イエス言うのを″「こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。″（ マタイによる福音書, 5：3）しました。
こころが豊富な人は、自分の義だと思っています。神の助けを求めません。霊的な知識と賜物に不足がないと思います。一方、こころの貧しい人は自分には義がないのを知って完全にイエス・キリストのあがないによるのを頼ります。また、常に神の助けを頼って求めます。そして神霊な知識と賜物を切に望みます。それゆえに、こころが貧しい人は、永遠の天国に入ることだけでなく、この世の中に住んでいる間、そのこころは、真の富を享受されます。これは、この世が与えることができず、奪うことができない神霊な富です。あなたはいつもこころが貧しい者になって、真の富を享受することになりますよ。

第二は、弱いなら強くなる逆説的な真理です。

神は自ら強いと思う者を使用していません。　コリント人への第一の手紙に「それだのに神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選び、有力な者を無力な者にするために、この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである。」（　コリント人への第一の手紙, 1：27,28）しました。
自分の弱さを知っている者は、神の力を求め頼ることで強い者を勝ちとなります。そうすれば、すべての栄光を神に帰するようになります。
使徒パウロは、肉体のとげ問題で苦心して祈るとき、その教訓を悟りました。　「ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである」（ コリント人への第二の手紙 12：9,10）神の前では、　弱いのが強くなるが、この逆説的な真理を自分のものと取ってください。

第三には、負ければ勝つされる逆説的な真理です。

ヤコブは兄エサウに変装して、視力が悪くなった父から長者に祈ってくれる祝福を受けました。これゆえに恨みを受けて伯父の家に行って住んで 20 年間、多くの試練を経験しました。しかし、ヤコブは、神の恵みを受け大金持ちになって帰郷してもどりました。彼がヤボク川に達したときにはエサウが 400 人を引き連れて走ってきていました。ヤコブは心を落ち着かせるしようとプレゼントを先に送って、家族を後に従えた、自分は一人で残って事態を注視しました。日が暗くなりました。その時ある人がヤコブを抱きしめました。ヤコブは、神の使者という感じを受けて、その人を一晩に握り祝福するのを求めました。その人はヤコブを震え打とうしたが、ヤコブがしつこく握る者ヤコブの環骨を打って環骨が脱骨しました。それにもかかわらず、ヤコブが祝福してくれるように握り懇願しました、その人が言った「 あなたはもはや名をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人とに、力を争って勝ったからです」しました。
ヤコブ彼はそのことのゆえにあしをびっこを引いていたが、心が平安で大胆になりました。エサウは 400 人を引き連れて走って来てヤコブを見たとき、神がエサウの心の中に憎むの代わりにかわいそうな思いがしました。すると走って来てヤコブの首を抱いて泣きました。ヤコブが恐れていた問題が一時に解決されました。
ヤコブは、神のみ使いが手を挙げて打ったので、徹底的に敗北したその時に、神が彼を「イスラエル」になるようにしていただきました。つまり、神と一緒に行い勝利者になるようにしました。

第四は、低くなると高くなる逆説的な真理です。

イエス様が言うのを　″そこで、あなたがたのうちでいちばん偉い者は、仕える人でなければならない。だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」（ マタイによる福音書, 23：11,12）しました。
イエスは弟子たちとの夕食会の席で起きてたらいに水を入れて、弟子たちの足を洗いました。そして言われました「 しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである　わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。」（ ヨハネによる福音書, 13：14,15）。イエスの復活後に、弟子たちは、この教訓に従って住んでいました。低くなって仕える者、神が高めていただきます。

第五は、死ぬと命を得る逆説的な真理です。

イエスはエルサレムに上って長老たちと、祭司長たちや律法学者たちに多くの苦しみを受け、十字架に釘つけられ殺され三日めによみかえるのを弟子たちに言われた。イエスが十字架で死を予告すると、ペテロが立ち上がって引き止めました。イエス振り向いてペテロを叱るのを弟子たちに言われた。　「だれでもわたしについていくと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。」私たちはそれぞれ負うべき十字架は自己を否定する十字架です。聖書には、昔の人は、外なる人、肉に属する人という表現があります。神の言葉に反する理論とを主張し、我執、欲望を追っ行うしようとする肉に属する自我を釘付けろという意味です。これらの自我を釘付けの起因する死に比例して、聖霊によるの生命力が彼のこころに注ぐようになります。

第六は、与えれば多めになる逆説的な真理です。

自然は私たちに教訓を与えます。もし海と湖や川の水が水蒸気を出さなければ、何が起こるでしょうか？雨が降らないようになってその後の動植物がみんな死ぬでしょう。与え再び取り戻すこれら水の循環を介して地球上に生命体が生きできるようになり五穀を生産することになって汚れを浄化します
多めになるために自分の手に入ったのは出して置かないようにするというのが一般的通念です。もちろん無駄にせず、貯蓄に励むことが多めになる方法もあります。しかし、実際には、適切に分け施すことがより豊かになる秘訣であることを知らなければならないです。聖徒たちが十分の一と各種献金をすることは神聖な義務であるが、一方では、神が契約された言葉が、実際に行われることを体験する道でもあります。イエス言うのを　″与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう。あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから」。（ ルカによる福音書, 6 :38）しました。

第七は、することができないはずにできるようになる逆説的な真理です。

モーセは年齢 40 歳の時、自分の民族を救うため出ました。同族ヘブライ人を虐待するエジプト人を殺したが、むしろ同族が、すぐに告発しました。このため、モーセは逃亡者となり、生きるためには仕事をしました。モーセは 80 歳になったある日羊の群れを導いていくところ不思議な現象を見ました。　しばの中の炎のうちに彼に現れた。彼が見ると、しばは火に燃えているのに、そのしばはなくならなかった。モーセは言った、「行ってこの大きな見ものを見、なぜしばが燃えてしまわないかを知ろう」。しました。
燃えるしばの中で神の声が聞こえました。「 いまイスラエルの人々の叫びがわたしに届いた。わたしはまたエジプトびとが彼らをしえたげる、そのしえたげを見た。さあ、わたしは、あなたをパロにつかわして、わたしの民、イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう」（ 出エジプト記, 3：9,10）。神はモーセを 40 歳の時に使用していないし、一介の羊飼いになって 80 歳になった時にそのように重大なことをお預けになる理由は何でしょうか？その理由は簡単です。「私は私の力と知恵で何でもできるはずた」という人を神は使用しないのです　「 わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」（ ピリピ人への手紙, 4 :13）この人になる時、神様が使われます。

七つの逆説的な真理を見てみました。貧しいが真の富を得ることになり、弱いしなければなら強くなり、負ければ勝つし、低くなると高くなり、死ねば命を得て、与えると多めになり、することができないはずとできるようになる逆説的な真理です。これは、聖書に記録された教訓であり、原理です。成功と幸福を抱かせる逆説的な真理です。皆さんはこのような逆説的真理を適用し、実践して、その結果を体験することになりますよう願いします。